

高知県感染症発生動向調査（週報）

2025年 第48週 （11月24日～11月30日）

★県内での感染症発生状況

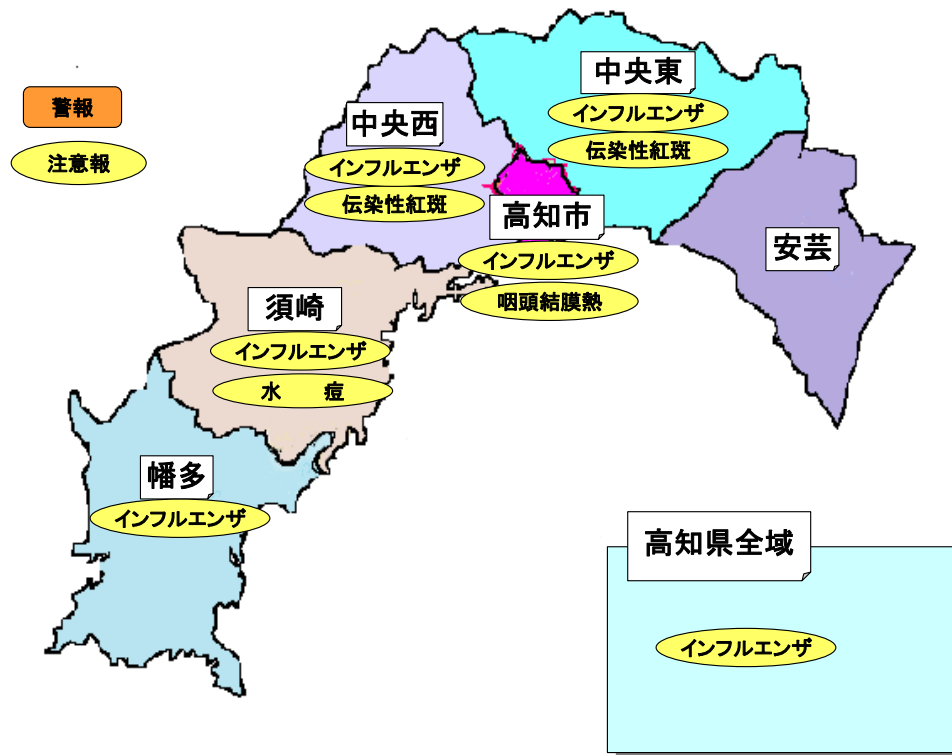
急性呼吸器感染症及び小児科定点把握感染症（上位5疾患）

疾病名	推移	定点当たり 報告数	保健所管内別の傾向
インフルエンザ	▲	19.11	須崎、高知市、中央東、幡多、安芸で増加しています。
感染性胃腸炎	▲	2.35	中央東で急増、高知市で増加していますが、須崎で減少しています。
新型コロナウイルス感染症	▶	2.26	中央東、中央西、幡多で減少しています。
A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	▲	1.45	安芸で急増していますが、中央西で急減、高知市で減少しています。
伝染性紅斑	▶	0.60	中央東で急増していますが、須崎、幡多で急減、中央西、高知市で減少しています。

<推移の基準>

急増	▲	前週と比較し、2倍以上の場合	減少	▲	前週と比較し、0.5倍以上～0.8倍未満の場合
増加	▲	前週と比較し、1.2倍以上～2倍未満の場合	急減	▼	前週と比較し、0.5倍未満の場合
横ばい	▶	前週と比較し、0.8倍以上～1.2倍未満の場合			

★地域別警報・注意報状況



★週報の発行日

週報は、毎週「木曜日」の午後3時30分以降に発行します。

ただし、「火曜日」「水曜日」「木曜日」が祝日の場合は、「金曜日」になります。

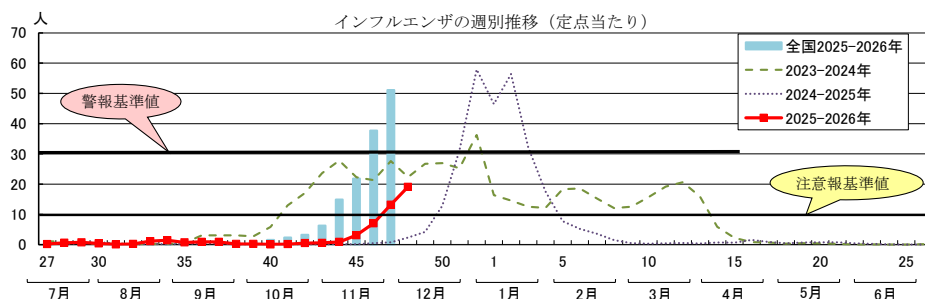
★気になる感染症

インフルエンザ

高知県の定点当たりの報告数は、第40週以降8週連続で増加しており、学校等では集団発生による休校、学年閉鎖、学級閉鎖が多数報告されています。外出後の手洗いなどの感染予防、症状がある方は、咳エチケットを心がけ、早めに医療機関を受診しましょう。いったん流行が始まると、短期間に多くの人へ感染が拡大します。保育園や幼稚園、学校や社会福祉施設など集団生活の場では特に注意してください。

県内のインフルエンザ定点医療機関での迅速診断では、インフルエンザA型が83.2%（467件）、インフルエンザB型が16.8%（94件）と2種類報告されています。

全国では、原因ウイルスとして、第44週～第48週はAH3が最も多く94.9%（225件）、次いでB（ビクトリア系統）2.5%（6件）、AH1pdm09が2.1%（5件）、B（系統不明）が0.4%（1件）の順で検出されています。



学校等における集団発生

※学校等欠席者・感染症情報システム

保健所		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計
休校	第48週	—	—	—	—	1	—	1
	累計	—	1	—	—	1	—	2
学年閉鎖	第48週	—	1	2	—	2	—	5
	累計	—	1	8	1	4	2	16
学級閉鎖	第48週	1	1	9	1	—	1	13
	累計	1	1	21	3	1	3	30

●インフルエンザ予防接種

インフルエンザは、その年により流行の程度に差がありますが、例年11月頃から患者が増え始め、12月から3月頃にかけて流行します。インフルエンザワクチンは、インフルエンザウイルスに感染した場合に発症を一定程度抑える効果や重症化を予防する効果が認められています。ワクチン接種後抗体ができて予防効果が発現するには、およそ2週間かかると言われていています。かかりつけ医等、医療機関に相談のうえ、予防対策の1つとして予防接種をご検討ください。

●予防方法

～かからないために～

- *外出した後などにはこまめに手洗いしましょう。
- *外出時はなるべく人ごみを避けましょう。
- *十分な栄養と休養をとりましょう。

～うつさないために～

- *咳やくしゃみなどが出るときはできるだけマスクをするなど「咳エチケット」を守りましょう。
- *インフルエンザが疑われるときには、登校を控えるなど、外出はできるだけ控えましょう。

●学校感染症

インフルエンザは学校保健安全法（同法施行規則第19条）では、出席停止期間の基準が「発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日（幼児にあっては、3日）を経過するまで」と規定される学校感染症（第2種）です。ただし、この出席停止期間は病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めたときは、この限りでないと規定されています。

●厚生労働省「インフルエンザ総合ページ」

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/infuenza/index.html

麻しん（はしか）

第 48 週、中央東保健所管内の医療機関から、麻しんの報告が 3 件ありました。

麻しんは、非常に感染力が強く、ワクチン接種歴が無いなど免疫が不十分場合は、ほぼ 100% 感染すると言われています。

発熱や発疹などの「麻しん」が疑われる症状（発症時は軽い発熱のみの場合があります）がでた場合は、**必ず受診前に医療機関へ連絡のうえ、受診時の注意点を確認し、受診するようにお願いします。**

また、受診の際には、公共交通機関の利用は避け、できるだけ他者と接触しないようにし、感染を広げないように注意してください。

●症状

・感染すると約 10～12 日後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が現れ、2～3 日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発疹が出現します。

・肺炎、中耳炎を合併しやすく、患者 1,000 人に 1 人程度の割合で脳炎が発症します。死亡する割合も、先進国であっても 1,000 人に 1 人と言われています。

・その他の合併症として、10 万人に 1 人程度と頻度は高くないものの、麻しんウイルスに感染後、数年から十数年後に亜急性硬化性全脳炎（SSPE）と呼ばれる知的障害や運動障害などが進行した後、数年以内に死に至る中枢神経疾患を発症することもあります。

・症状が出る 1 日前から熱が下がって 3 日間までは、麻しんに対する免疫が不十分な人に感染させる可能性があります。

●予防方法

予防接種をうけ、あらかじめ免疫をつけておくことが最も効果的です。

※ただし、妊婦の方は接種することができません。

< 予防接種法に基づく定期予防接種の対象者 >

第 1 期：生後 12 月から生後 24 月に至るまでの間にある者

第 2 期：5 歳以上 7 歳未満で小学校就学前の 1 年間

※高知県は、全国に比べ第 1 期、第 2 期とも接種率が低い状況にあります。定期接種の対象者は、積極的な接種をお願いします。

●参考

* 麻しん（はしか）患者の発生に係る情報提供（高知県健康政策部健康対策課）

<https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/2025111500025/>

* 麻しん（厚生労働省）

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekaku-kansenshou/measles/index.html

★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内 容	保健所
2 類	結 核	1	52	90 歳代 女性	須 崎
		1		80 歳代 男性	幡 多
3 類	腸管出血性大腸菌感染症	1	12	0～4 歳 女性	高知市
		1		20 歳代 女性	
		1		50 歳代 男性	
		1		60 歳代 女性	
5 類	梅 毒	1	32	70 歳代 女性	須 崎
		1		20 歳代 男性	
	百日咳	1	1,312	15～19 歳 男性	中央東
		1		20 歳代 女性	
		1		50 歳代 男性	
	麻しん	2	4	30 歳代 女性	中央東
		1		40 歳代 男性	

★病原体検出情報

前週以前の受付

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
47	不明発疹症	発疹	4	女	須崎	Rhinovirus

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情 報
中央東	早明浦病院小児科	溶連菌感染症 2 例（2 歳女、8 歳女） インフルエンザ A 型 2 例（7 歳男 2 人）
	JA 高知病院小児科	RS ウイルス感染症 2 例 アデノウイルス咽頭炎 2 例 COVID-19 1 例 伝染性紅斑 4 例 インフルエンザ A 型 42 例、B 型 4 例、見なし陽性 15 例） 第 47 週マイコプラズマ（Lamp 法）2 例
	嶺北中央病院内科	インフルエンザ A 型 4 例
高知市	けら小児科・アレルギー科	マイコプラズマ感染症 2 例（5 歳、9 歳） インフルエンザ A 型 77 例、B 型 12 例 アデノウイルス咽頭炎 5 例
	近森病院	インフルエンザ A 型 10 例、B 型 1 例、臨床診断 2 例
	はまだ小児科	インフルエンザ A 型 30 例、B 型 12 例
	福井小児科・内科・循環器科	インフルエンザ A 型 24 例、B 型 14 例 溶連菌感染症 8 例 伝染性紅斑 3 例 水痘 2 例（5 歳女ワクチン済、11 歳男ワクチン未接種） COVID-19 1 例
	ふないキッズクリニック	マイコプラズマ感染症 1 例（8 歳男）
高知市	細木病院小児科	マイコプラズマ感染症 2 例（4 歳女、8 歳男） マイコプラズマ肺炎 1 例（7 歳女） 咽頭結膜熱 3 例 溶連菌感染症 5 例 感染性腸炎 2 例 インフルエンザ A 型 22 例、B 型 10 例
中央西	くぼたこどもクリニック	感染性胃腸炎 1 例（1 歳男：いの町） COVID-19 1 例 インフルエンザ A 型 16 例、B 型 2 例
	日高クリニック	マイコプラズマ気管支炎 1 例（4 歳男）
須 崎	大西病院小児科	インフルエンザ A 型 14 例
	くぼかわ病院内科	インフルエンザ A 型 12 例
	須崎くろしお病院内科	インフルエンザ A 型 14 例、B 型 2 件
	もりはた小児科	インフルエンザ A 型 47 例、B 型 10 例 マイコプラズマ感染 4 例（6 歳、7 歳、9 歳 2 人） 水痘 2 例 ロタウイルス感染性胃腸炎 1 例（7 歳）
幡 多	渭南病院小児科	マイコプラズマ肺炎 1 例（2 歳女）
	こいけクリニック	マイコプラズマ肺炎 2 例（5 歳女、7 歳男） ロタウイルス胃腸炎 1 例（7 か月女）

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生環境研究所）

〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1 高知県保健衛生総合庁舎2階

TEL：088-821-4961 FAX：088-821-4696

※この情報に記載のデータは 2025 年 12 月 2 日現在の情報により作成しています。

★高知県感染症情報

疾病別・地域別報告数

高知県感染症情報（49定点医療機関）

									第48週 令和7年11月24日(月)～令和7年11月30日(日)			高知県衛生環境研究所	
定点名 (定点数)	保健所 疾病名等	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多		計	前 週	全国 (47週)	高知県 (48週未満計) R6/12/30～R7/11/30	全国 (47週未満計) R6/12/30～R7/11/23
急性呼吸器 感染症 (38)	急性呼吸器感染症(ARI)*	72	297	1024	171	164	178		1,906 (50.16)	1,887 (49.66)	396,446 (103.38)	51,194 (1347.21)	7,396,406 (1928.16)
	インフルエンザ	22	148	301	53	99	103		726 (19.11)	502 (13.21)	196,895 (51.12)	9,907 (260.71)	1,174,343 (283.32)
	新型コロナウイルス 感染症	5	19	29	9	17	7		86 (2.26)	102 (2.68)	6,302 (1.64)	8,682 (228.47)	751,073 (181.20)
小児科 (20)	咽 頭 結 膜 熱			8			1		9 (0.45)	()	665 (0.28)	239 (11.95)	43,507 (16.98)
	A群溶血性レンサ球菌 咽 頭 炎	1	3	20	1		4		29 (1.45)	37 (1.85)	5,565 (2.38)	1,931 (96.55)	254,046 (99.12)
	感 染 性 胃 腸 炎		3	32	2		8		47 (2.35)	39 (1.95)	9,394 (4.01)	3,420 (171.00)	724,995 (282.87)
	水 痘		2	2		2	1		7 (0.35)	12 (0.60)	710 (0.30)	177 (8.85)	37,507 (14.63)
	手 足 口 病					1			1 (0.05)	3 (0.15)	286 (0.12)	389 (19.45)	28,377 (11.07)
	伝 染 性 紅 斑		4	6	2				12 (0.60)	15 (0.75)	1,523 (0.65)	830 (41.50)	151,106 (58.96)
	突 発 性 発 疹			1			1		2 (0.10)	4 (0.20)	514 (0.22)	242 (12.10)	32,528 (12.69)
	ヘルパンギーナ								()	()	135 (0.06)	796 (39.80)	49,333 (19.25)
	流行性耳下腺炎								()	1 (0.05)	88 (0.04)	34 (1.70)	5,998 (2.34)
	RSウイルス感染症		4						4 (0.20)	5 (0.25)	1,699 (0.73)	1,019 (50.95)	103,316 (40.31)
眼科 (3)	急性出血性結膜炎								()	()	5 (0.01)	()	999 (1.44)
	流行性角結膜炎								()	2 (0.67)	529 (0.76)	33 (11.00)	27,861 (40.26)
基幹 (8)	細菌性髄膜炎								()	()	6 (0.01)	3 (0.38)	402 (0.84)
	無菌性髄膜炎								()	()	9 (0.02)	7 (0.88)	914 (1.90)
	マイコプラズマ肺炎			4			3		7 (0.88)	6 (0.75)	625 (1.30)	303 (37.88)	17,439 (36.33)
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)								()	()	2 ()	()	124 (0.26)
	感染性胃腸炎 (口 タウリスに限る)								()	()	4 (0.01)	23 (2.88)	1,772 (3.69)
計 (ARIを除く)		28 (10.00)	183 (27.85)	403 (34.81)	67 (18.00)	121 (31.50)	128 (23.70)	930 (27.80)			224,956	28,035 (943.03)	3,405,640
前 週 (ARIを除く)		22 (8.00)	155 (23.00)	313 (29.79)	69 (19.50)	84 (23.50)	85 (17.29)		728 (23.11)				

注 () は定点当たり人数

*ARIの集計法：上記症状の患者を集計するため、インフルエンザやCOVID-19、咽頭結膜熱等の患者と重複している場合があります

高知県感染症情報（49定点医療機関）定点当たり人数

定点当たり								第48週					
定点名 (定点数)	疾病名等	保健所	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前 週	全国 (47週)	高知県 (48週未満計) R6/12/30～R7/11/30	全国 (47週未満計) R6/12/30～R7/11/23
急性呼吸器 感染症 (38)	急性呼吸器感染症(ARI)*		24.00	42.43	78.77	42.75	41.00	25.43	50.16	49.66	103.38	1347.21	1928.16
	インフルエンザ		7.33	21.14	23.15	13.25	24.75	14.71	19.11	13.21	51.12	260.71	283.32
	新型コロナウイルス 感染症		1.67	2.71	2.23	2.25	4.25	1.00	2.26	2.68	1.64	228.47	181.20
小児科 (20)	咽 頭 結 膜 炎				1.00			0.33	0.45		0.28	11.95	16.98
	A群溶血性レンサ球菌 咽 頭 炎	1.00	0.75	2.50	0.50			1.33	1.45	1.85	2.38	96.55	99.12
	感 染 性 腎 臓 炎		0.75	4.00	1.00	1.00	2.67	2.35	1.95	4.01	171.00	282.87	
	水 痘		0.50	0.25		1.00	0.33	0.35	0.60	0.30	8.85	14.63	
	手 足 口 病					0.50		0.05	0.15	0.12	19.45	11.07	
	伝 染 性 紅 斑		1.00	0.75	1.00			0.60	0.75	0.65	41.50	58.96	
	突 発 性 発 疹			0.13			0.33	0.10	0.20	0.22	12.10	12.69	
	ヘルパンギーナ									0.06	39.80	19.25	
	流行性耳下腺炎								0.05	0.04	1.70	2.34	
	RSウイルス感染症		1.00					0.20	0.25	0.73	50.95	40.31	
眼科 (3)	急性出血性結膜炎										0.01		1.44
	流行性角結膜炎									0.67	0.76	11.00	40.26
基幹 (8)	細菌性髄膜炎										0.01	0.38	0.84
	無菌性髄膜炎										0.02	0.88	1.90
	マイコプラズマ肺炎			0.80				3.00	0.88	0.75	1.30	37.88	36.33
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)												0.26
	感染性腎臓炎 (タウウイルスに限る)										0.01	2.88	3.69
計 (ARIを除く)			10.00	27.85	34.81	18.00	31.50	23.70	27.80			943.03	
前 週 (ARIを除く)			8.00	23.00	29.79	19.50	23.50	17.29		23.11			

*ARIの定義：医師が感染症を疑う外来症例で、かつ発症から10日以内の急性症状（咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上）を呈している症例

*ARIの集計法：上記症状の患者を集計するため、インフルエンザやCOVID-19、咽頭結膜熱等の患者と重複している場合があります

疾病別・年齢別報告数

[illegible]

*ARIの定義：医師が感染症を疑う外来症例で、かつ発症から10日以内の急性症状（咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上）を呈している症例

*ARIの集計法：上記症状の患者を集計するため、インフルエンザやCOVID-19、咽頭結膜熱等の患者と重複している場合があります

疾病別年次報告数推移 2025年第48週 (急性呼吸器感染症定点・小児科定点・眼科定点)

